

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公開番号】特開2011-131873(P2011-131873A)

【公開日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-027

【出願番号】特願2010-101597(P2010-101597)

【国際特許分類】

B 6 0 R 22/48 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 22/48 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月29日(2012.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バッテリとバッカルスイッチと接続されて用いられるモータ駆動装置において、

マイクロコンピュータと、前記バッカルスイッチのスイッチの切り替えによって論理が切り替わる入力信号に基づいてスリープ状態の前記マイクロコンピュータをウェイクアップするウェイクアップ回路と、を有する制御装置と、

前記マイクロコンピュータがスリープ状態であっても、バックアップメモリによってオン・オフを維持できるトランジスタと、

前記トランジスタと直列に接続された第1の抵抗と、

前記第1の抵抗と並列に接続された第2の抵抗と、を有するモータ駆動装置。

【請求項2】

請求項1記載のモータ駆動装置において、

前記入力信号は、前記マイクロコンピュータがスリープ状態のとき、前記バッカルスイッチがオンからオフに切り替わった場合、論理がLowからHighに切り替わり、

前記ウェイクアップ回路は、前記入力信号の切り替わりを検知して前記マイクロコンピュータをウェイクアップさせるモータ駆動装置。

【請求項3】

請求項1記載のモータ駆動装置において、

前記バッカルスイッチがオフの状態で、前記マイクロコンピュータがスリープ状態になるとき、前記マイクロコンピュータは、前記トランジスタをオンにするモータ駆動装置。

【請求項4】

請求項1記載のモータ駆動装置において、

前記入力信号は、前記マイクロコンピュータがスリープ状態のとき、前記バッカルスイッチがオフからオンに切り替わった場合、論理がHighからLowに切り替わり、

前記ウェイクアップ回路は、前記入力信号の切り替わりを検知して前記マイクロコンピュータをウェイクアップさせるモータ駆動装置。

【請求項5】

バッテリとバッカルスイッチと接続されて用いられるモータ駆動装置において、

マイクロコンピュータと、

前記バッカルスイッチのスイッチの切り替えによって論理が切り替わる入力信号に基づ

いてスリープ状態の前記マイクロコンピュータをウェイクアップするウェイクアップ回路と、

前記マイクロコンピュータがスリープ状態であっても、バックアップメモリによってオン・オフを維持できるトランジスタと、

前記トランジスタと直列に接続された第1の抵抗と、

前記第1の抵抗と並列に接続された第2の抵抗と、を有する制御装置を有するモータ駆動装置。

【請求項6】

バッテリと接続される第1の接続端子と、

バックルスイッチと接続される第2の接続端子と、

マイクロコンピュータを有する制御装置と、を有し、

前記制御装置は、

前記第2の接続端子から入力された前記バックルスイッチのスイッチの切り替え信号に基づいて論理が切り替わる入力信号に基づいてスリープ状態の前記マイクロコンピュータをウェイクアップするウェイクアップ回路と、

前記第1の接続端子からのバッテリ電圧が印加され、前記マイクロコンピュータがスリープ状態であっても、バックアップメモリによってオン・オフを維持できるトランジスタと、

前記トランジスタと直列に接続された第1の抵抗と、

前記第1の抵抗と並列に接続された第2の抵抗と、を有し、

前記制御装置は、前記入力信号が入力される入力端子から前記ウェイクアップ回路間に、レベルシフト用のトランジスタとバッファを有し、

前記制御装置の前記入力端子と前記第2に接続端子間に、電流増幅用の第2のトランジスタと、前記第2のトランジスタと直列に接続された前記第2のトランジスタの負荷抵抗である第3の抵抗と、前記第3の抵抗と並列に接続された第4の抵抗と、を有するモータ駆動装置。